

講演要旨

戦争のない世界に向けて —ベルタ・フォン・ズットナーの文学と平和運動

愛知学院大学教授

糸井川修

戦争の廃絶は人類の願いであり、トインビー対談においても「人類の生存をいま深刻に脅かしている諸悪」の一つとして、戦争の廃絶に向けた様々な努力の必要性が語られている。講演では、女性初のノーベル平和賞受賞者であり、第一次世界大戦前のヨーロッパで作家・平和運動家として活躍したオーストリアのベルタ・フォン・ズットナー（1843-1914）を取り上げ、『武器を捨てよ！』（1889）を中心に彼女の文学の特徴、作品を通して彼女が訴えた思想や彼女の平和運動を紹介する。人間の善性を信じ、「未来は善意のものである」と語った彼女の思想と行動は、対談の最後で語られる「生命の尊厳」と「人間の尊厳」の追求に深く通じている。トインビー対談、池田 SGI 会長のズットナーについての言及なども参照しながら、彼女の「平和のために捧げた生涯」のメッセージを読み取りたい。